

## シャーロック・ホームズと近代合理主義

経営学部長・教授

片岡 豊



世界でもっとも有名な、そしてもっとも信頼を得ている探偵がシャーロック・ホームズであることは疑いのないところであろう。とくに「男の子」にとって少年時代に経験した名探偵ホームズへの憧れは強烈で、ほとんどの場合大人になっても密かに持ち続けている。もちろん私も例外ではない。

ホームズはイギリスの作家アーサー・コナン・ドイル（1859～1930）が創り出した架空の人物である。シャーロック・ホームズの物語は推理小説に分類されることが多いが、論理性を重視した謎解きを本分とする推理小説としては二流の域を出ない。暗号小説である「踊る人形」はエドガー・アラン・ポーの「黄金虫」の盗用であり、現代ならば文壇から追放されかねないほどのひどい剽窃である。オリジナリティーにおいても然り。ホームズの人物像はすでにポーのオーギュスト・デュパンに原型がある。しかしそれでもシャーロック・ホームズの魅力は永遠に不滅なのである。

ホームズが活躍するのは19世紀後半のイギリスである。彼は相棒ワトソンとともにガス灯が瞬き霧にかかるロンドンで2輪馬車を駆り、時にはまた鉄道で調査のために地方に赴く。鉄道はイギリスで発明された最新式の交通機関であった。電灯が発明されていないこの時期、ガス灯を遮る霧は工場に据え付けられた蒸気機関から出た石炭の煤煙である。

19世紀半ばイギリスは他国に先んじて産業革命を終え大英帝国としての地歩を固めつつあつた。突出した経済力により富は国内に集積され、一介の町医者に過ぎないワトソンまでが南アフリカの国債投資を考えていた程である。しかしその一方で労働者の窮迫、スラム街の出現など多くの近代工業国家に特有な問題を始めて経験していた。

ホームズの魅力的な助手にベイカーストリー・イレギュラーズという少年達の別働隊がある。江戸川乱歩はこれを模して、小林少年を隊長とする少年探偵団を組織し、明智小五郎探偵とともに怪人二十面相と対決させた。スマートで洗練された少年探偵団に入団する夢をみたのは私だけではないであろう。しかしイレギュラーズの出で立ちは決して小綺麗なものではない。つぎはぎだらけの衣服に、鼻水を垂らした子供達である。彼らは当時教区徒弟と呼ばれた貧民の子供あるいは浮浪孤児であり、すでに大きな社会問題となっていた工場における児童労働の供給源でもあった。

ドイルはホームズの活躍の場を自らの少年時代に求めた。物語の魅力の一つは19世紀イギリス社会の活写にあるのである。

ホームズ自身の人間像もまた斬新であった。冒険談の冒頭でホームズは一種の物当てをし、しばしばワトソンを驚かせる。窓から見下ろした来客の外見だけで職業や相談事を見抜き、ワ

トソンの仕草を観察するだけで彼が考えていることを的中させる。一見不思議に見えるこの業は事実の観察から演繹される結論であり、魔法でも占いでもないことをホームズは強調する。ホームズの精神活動の根幹は近代合理主義にあり、前近代的神秘主義は徹底的に否定されるのである。

彼は化学をはじめとする近代科学の知識も豊富である。ボクシング、フェンシングはプロ級の技量を持ち、「バリツ」という日本武術（？）も体得している。ただしこれらはすべて探偵の活動に必要な限りにおいてであり、一般な教養にはほとんど関心を示さない。近代における合目的的精神はここでも貫徹されている。

#### 〔白鷗大学図書館所蔵〕

シャーロック・ホームズ全集／アーサー・コナン・ドイル著

河出書房新社 933/DO/1～9

シャーロック・ホームズ大百科事典

河出書房新社 930.28/TR

シャーロック・ホームズ全集 ビデオテープ 6巻

日本クラウン VT/H/0158～0163

ドイルはさりげなくホームズに騎士道精神を付与し、デュパンにはない要素を織り込んで近代市民社会のヒーローを創り出した。しかし作者自身がホームズをこよなく愛していたかどうかは疑問である。現にドイルは一度ホームズをこの世から消している。ドイルはワトソンに言わせている。「ホームズ、君のシャーロックという名前はシャイロックに由来するのだね。」シャイロック、もちろんベニスの商人に登場する強欲なユダヤ人の金貸しである。近代合理主義の結果の一つは貨幣崇拜であるというマックス・ウェーバーの予言を思い浮かべるのは深読みに過ぎようか。



表紙画像は、出版社の許可を得て掲載しています。

## 図書館における新型インフルエンザ 感染防止（対策）について

### 図書からの感染の不安を取り除くために…何をするか

例えば、病院の感染対策マニュアルとして「CDCガイドライン」がある。  
Centers for Disease Control and Prevention（米国疾病対策センター）の略

その中で、図書の表面からの感染リスクは、最も低いカテゴリーに分類されるそうです。そのカテゴリーの物品の感染予防策には、水拭きと、逆性せっけんなどの消毒があげられます。

しかし、現実問題として図書館の本を洗浄・消毒はできません。

「本」は、感染予防対策が十分に実施できないケースとなるわけです。

『図書館雑誌』2008.6において老年学情報センターの宮本孝一氏は、最も効果的な感染対策は、「本」ではなく「手」をどうするか…ではないだろうかと提起しています。

宮本氏は、現時点として、最善の感染予防策は、「本」に触る前後の、擦式消毒用アルコール製剤を用いた手指消毒と述べているのです。

また『日本医事新報』1973年no.2543において川村明義氏は「書籍を媒体としての感染はあり得るか」という文章を公開しています。そこでは、理論的には感染も可能でも、実際にはほとんどないといつてもよいだろうと言っています。ご心配はないでしょう。

〈白鷗大学総合図書館でも手指消毒剤（速乾性すり込み式）を設置、ご利用ください〉

# みんなでワイワイおしゃべり市場

法学部准教授

清水 晴生



今年のゼミは関東三県出身の4人の3年生、個性豊かな5人の4年生、それに秋田出身の院生2人も加わって、みんなでワイワイ（ときには中国語まで混ざったりしつつ）盛り上がりで議論をしています。ワイワイ盛り上がっているというとみんなが一齊にしゃべっているような感じがしますが、実はお互いが同時にしゃべりながら聞くことは実際やってみるとわかりますができません。おしゃべり市場の参加者たちはお互いのおしゃべりをさえぎることなく、色とりどりの話題を自由にやりとりしています。

おなじことは実は図書館でもひっそりと行われています。さまざまな作者による色とりどりの本が並べられて、利用者はそのうちのどれでも自由に手に取ることができます。まるで本の作者と読者とがおしゃべりするみたいに、図書館が仲介人となってさまざまな話題をやりとりしているわけです。

仲介人の役割は重要です。ときにはゼミでも、議論の交通整理をするために担当教員が仲介に入ることがあります。図書館も、本と利用者とのおしゃべりが気持ちよく行われるように仲介人の役をしているわけです。えこひいきをして特定の人だけにしゃべらせたり、意地悪をして特定の人にしゃべらせなかつたりすれば、せっかくあちこちから集まってきた参加者のいろんな話を聞くことができなくなり、言ってみれば同じような話題ばかりが売られている退屈な市場になって、偏った食材しか買えなくなってしまいます。

2005年7月14日に最高裁判所も、公設のおしゃべり市場の仲介人である図書館には、平等に話題を取り扱わなければならない義務があって、また図書館の本の作者には平等に話題をやりとりしてもらえる利益があるのだから、仲介人により平等に話題をやりとりされなかつた作者は一人の人として尊重されなかつたことになるといいました。本の作者は直接口をふさがれ

たわけではありませんけれども、意地悪によって話題をやりとりされないという不利益を受けたとしたのです。

作者の口を直接ふさいだわけじゃあるまいし、ほかの、たとえば私設のおしゃべり市場で聞いてもらえるんだからべつにたいした不利益は受けないでしょ、どんな話題をやりとりするかは仲介人の勝手なはずで本の作者や利用者に対して責任はないでしょ、と考える人たちもいました。

でも作者が受けた一人の人として尊重されなかつたという不利益は、おしゃべりを聞いてもらえなかつたということよりも、平等に扱ってもらえなかつたということじゃないでしょか。話題を扱われなかつたことが仮に平等な取扱いの結果だったとしたら、その行為は正当化されていたはずです。そしてもちろん、ほかで聞いてもらえばいいというのでは、作者の利益だけじゃなく、図書館利用者の利益まで損なわれることになるでしょう。

図書館もゼミも色とりどりの話題が流通する市場みたいなモンです。いろんな話題や考え方方が目・耳にとび込んできて、新鮮な驚きもあります。自分から話題を提供して、受け取った人の反応を聞く楽しみだってあります。

こんなふうに周りの人と話題をやりとりするノウハウは、大学を出たあとの別の市場に行つてもきっと生かすことができます。人がそれいろいろな違った考えを持っていると知っておくことも、きっと役に立つでしょう。偏った取扱いをしない公正な市場に参加して、自分自身の目利きでいろんな意見をやりとりしていくことで、しっかりと自分の考えを持ったたくましいプロへと成長できると思います。みんなでワイワイできる市場をときには探したり作ったりもしながら、自分の気に入った道を楽しんで歩いていってください。

## [参照判決]

判決：2005年（平成17年）7月14日：最高裁判所第一小法廷（上告審）

事件番号：平成16年（受）第930号

事件名：損害賠償請求事件 通称：船橋市西図書館事件

掲載文献：最高裁判所民事判例集59巻6号1569頁

裁判所時報1391号13頁

判例時報1910号94頁

判例タイムズ1191号220頁

## 国会図書館の本、ネット公開構想

国会図書館の著作権の切れた明治・大正期の書籍約16万冊から来春までに約90万冊計画

米グーグルでは欧州や日本を含む世界の書籍700万冊以上をデジタル化…グーグル社の書籍検索サービス「グーグルブックス」。

問題は、デジタル化コストと著作権対応。

著作権が残っているが、入手や著作権者との連絡が難しい「絶版」図書の扱い、デジタル化によって「絶版」書籍の復活。今後の動きに注目。

## 情報リテラシー教育と大学図書館

(インフォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ)

情報リテラシーとは当時の文部省では「情報及び情報手段を主体的に選択して活用していくための個人の基礎的な資質」と定義され、学校教育でいう“情報リテラシー教育”は広義の情報リテラシーを指しています。

インフォメーション・コモンズとは、図書館サービスとワークステーションなどのデジタル環境などを組み合わせたスペースをいいます。また数年前から大学図書館にも「ラーニング・コモンズ」という名前のスペースを持つ図書館ができました。こちらは、学習するために皆が集う共通の場所と考えてください。

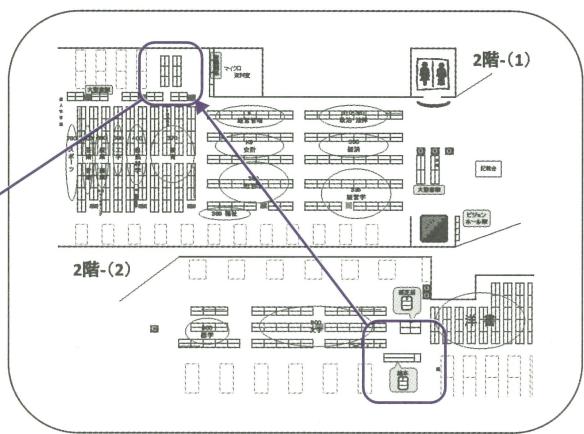
これらには、学習支援の情報が用意されて、学生には大変有益だと思われます。大学図書館を授業内外でもっと積極的に活用すべく考えてみました。

情報リテラシーがレポート作成や論文執筆の資料収集等で必要であるということは理解されています。図書館は積極的に活用されるべき学習活動の基盤なのです。図書館側では、授業内容に関して先生方との連携が必要であると認識しています。たとえば、先生の著作の寄贈等をお願い申し上げます。是非効率よく情報を提供してください。図書館は、客観的な資料提供の場になるでしょう。

## 本館 書架を移動しました

絵本・紙芝居を教職関係本の隣に移動し、絵本の書架を増設しました。

丸いテーブルの閲覧席も設置しましたので、ぜひご利用ください。



財団法人図書館振興財団（平成20年設立）が発行した「図書館を愛するみなさまへお願い図書館マナーブック」を配布しています。

白鷗大学の図書館でも守っていただきたいマナーが書かれておりますので、ぜひご一読ください。

編	集	平成21年10月30日 発行
発	行	図書館だより編集委員会
印	刷	白鷗大学総合図書館
印	刷	栃木県小山市大行寺1117 (0285)22-9737 (直通)
印	刷	ホームページ <a href="http://web.hakuoh.ac.jp/lib/index.html">http://web.hakuoh.ac.jp/lib/index.html</a>
印	刷	株尚文堂印刷所